

# 小栗上野介情報 59

ホームページ <http://tozenzi.cside.com/>

Eメール: [sharmila@theia.ocn.ne.jp](mailto:sharmila@theia.ocn.ne.jp)

2015(平成27)年 4月

発行 東善寺 住職 村上泰賢

ごんた

群馬県高崎市倉淵町権田169

〒:370-3401 TEL&fax:027-378-2230

振替 00120-1-406206 東善寺

2015平成27年 小栗上野介顕彰会と横須賀市が共催

横須賀市で初の 11月13日(金)~22日(日)

## 「小栗上野介展」



小栗上野介顕彰会の市川平治会長、矢野幸雄副会長、村上泰賢理事は横須賀市で文化振興課と協議し、平成27年11月に横須賀市内の施設で「小栗上野介展」を開催することで、準備に着手しました。

横須賀市はことし横須賀製鉄所鋳入れ式(着工式)から150周年を迎えることからその記念事業の一環としての「小栗上野介展」です。富岡製糸場の世界文化遺産登録を受けて、市民の間に横須賀造船所との関連から造船所の原点を見直す機運が高まっております。さらにその原点となった小栗上野介の業績を市民に広く認識してもらうことが期待されています。

▲旧横須賀造船所を見つめる小栗上野介の胸像

## 小栗まつり

予報

5月24日(日) 東善寺

□日 時: 2015平成27年5月24日(日)

□会 場: 東善寺 \*駐車場は倉淵小学校校庭

午前10時~ 墓前祭 墓参し献香していただきます。  
あさかごんさい

講演「安積良斎先生とその門人小栗公~幕末海

防の論理と実践について~」郡山市・安積国造神社  
安藤 智重宮司

午後 演奏 群馬マンドリン楽団 「維新無情」「トミーポルカ」  
倉淵中学校音楽部 「小栗のまなざし」など/紙芝居  
「小栗上野介の生涯」

昼市 小栗上野介関連の土地の物産などたくさんの店が出ます。  
海軍カレー・手打ちソバも評判。



▲お参りして手を合わせる

◇特別乗合ジャンボタクシー(24日限定運行・先着9人まで・予約制・片道2,000円)

往: 高崎駅9:00→9:50東善寺  
還: 東善寺15:00→15:55高崎

予約は: 榛名観光タクシー027-343-0020(担当・久保田)へ・東善寺でも取次ぎます。

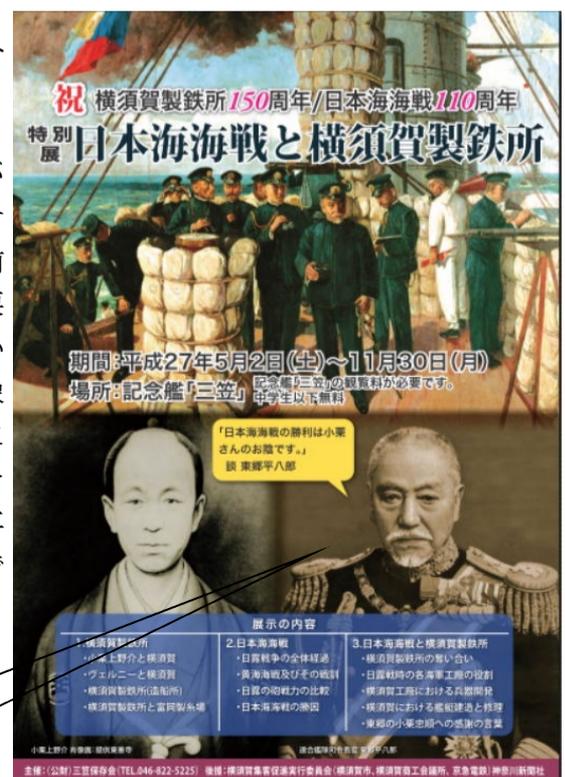
◇横須賀市の記念艦「三笠」で特別展 5/2~11月末

### 「日本海海戦と横須賀製鉄所」

第1部「小栗上野介と横須賀」

小栗上野介の業績が紹介されています。チラシの画像(左)は前住職村上照賢が「小栗公は正面の写真がないから」と描いた肖像画。東郷元帥が遺族に日本海海戦勝利の礼を述べて贈った書額(写真パネル)も横須賀で初めて展示されます。

日本海海戦の勝利は小栗さんのおかげ... 東郷平八郎



### あさかごんさい 安積良斎は...



▲講演で安積良斎を語る 予定の安藤智重宮司

◇小栗上野介の漢学の師  
◇郡山市安積国造神社の出身  
◇若くして江戸に出て苦学し、最初の塾を神田駿河台の小栗邸に開く。忠順も9歳で入門

◇門弟は小栗上野介・木村摂津守喜毅・清河八郎・岩崎弥太郎・権田直助・吉田松陰・高杉晋作・栗本鋤雲・かとりもとひこ  
榎取素彦(NHKドラマ「花燃ゆ」の主人公・初代群馬県令)など幕末・維新期の多くの俊英を指導し、影響を与えた学者



# 「小栗上野介所用の甲冑」は

かっちゅう

## ・・・小栗上野介家とは無関係と思われる



▲胸元の紋が違う (図録より)

**理由1, 家紋が異なる**  
甲冑の胸や籠手の紋が小栗上野介家の家紋「丸に立波」ではない。鎧兜の家紋は単なる飾りではない。命がけて自領を守り、戦場での手柄を証明してもらう大事な目印で、略した紋など考えられないし、子孫も「聞いたことがない」という。



▲甲冑の紋 小栗家の本来の家紋▲「丸に立波」

**理由2, 史料『小栗日記』家計簿に支出なし**

鎧櫃 (よろいびつ) に「文久二年八月に小栗豊後守忠順が誂えた」とあるとのことだが、『家計簿』にその支出がない。

**理由3, 文久二年に古来の鎧兜一式を新調するセンスではない**  
文久二年 (1862) は小栗上野介が遣米使節の世界一周の旅から帰国して二年後。アメリカで近代武装をした洋式軍隊をたくさん見てきた後であり、その後幕府は小栗上野介の提案を容れて洋式陸軍制度を立ち上げ、フランスから軍事教官を招いてフランス式陸軍の歩兵・砲兵・騎兵の三兵訓練を実施するまでにこぎつけている。その思考と、旧式の鎧兜を大金をかけて新調する思考に矛盾を感じる。

**理由4, 小栗上野介は合理主義者・リアリスト**  
小栗上野介は「古い時代に書かれたものなど信用出来ない」と骨董趣味を排し、学者や画家が自分の目の前で書いたものを大事にする合理主義者。西洋の進んだ武器や武具を見た小栗上野介がいまさら日本古来の甲冑を新調するとは思われない。

### ◇横須賀市議団が参拝 平成26年8月



横須賀市議員団「富岡市との友好を進める議員の会」有志22名が、小栗上野介の墓参りと研修で参拝。富岡製糸場は横須賀造船所の経営になって成功したことと、小栗上野介の人物・業績を研修しました。「倉渕との友好都市関係が切れているのは、惜しい」という声も聞かれました。

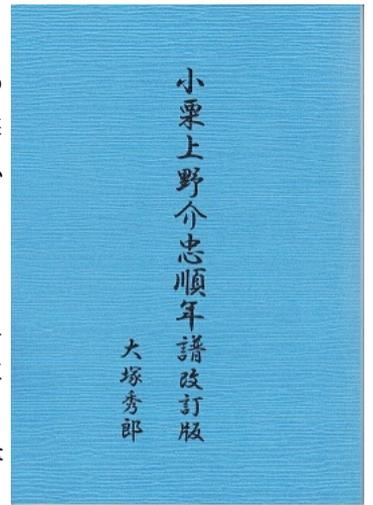
物・業績を研修しました。「倉渕との友好都市関係が切れているのは、惜しい」という声も聞かれました。

## 『小栗上野介忠順年譜』 大塚秀郎編著

実費3000円 東善寺でも取り次ぎます。

◆編著者大塚秀郎氏 (安中市) は明治大学卒業で、高校教諭のほか県内歴史編纂の仕事に携わってきましたが、このほど小栗上野介の年譜を自費出版しました。

◆小栗上野介は〇年〇月〇日に何をした、何があった、それはどの史料でわかるかがまとめられた、小栗上野介研究の基本書ともいべき研究者必携の書。



## 小冊子『日本近代化の源泉・横須賀造船所—富岡製糸場は横須賀造船所の妹—』

東善寺発行 400円



昨年6月に世界遺産に認定された富岡製糸場は、その建設と完成後の運営に横須賀造船所の影響を強く受けていることは、あまり知られていません。日本産業革命の地とも言える横須賀造船所を概説した小冊子です。

## 『富岡製糸場』 東京書籍編集・発行1400円+税

◆富岡製糸場をガイドするとともに関連の養蚕・生糸の施設を県外も含めて紹介し、さらに群馬県一般の特色も豊富な画像で紹介して富岡製糸場に限らず広い知識が得られる本。住職も「富岡製糸場は横須賀造船所の妹」(P37~)で、富岡製糸場の建物も運営も横須賀造船所が元になって成功していることを書きました。



## 東善寺「たつなみ会」に入りませんか

□会員には 小栗上野介顕彰会の機関誌「たつなみ」(年1回発行)を発行のつど買い上げて送るほか、「小栗上野介情報」「東善寺だより」など幕末・小栗公関連の情報を随時お送りします。

□会費 年1300円 申し込みは東善寺へ

□倉渕町の過疎化で小栗上野介顕彰会員が減少し運営に苦心しています。「たつなみ」買い上げが活動支援につながります